

会 議 録

1 会議名

令和4年度上越地域若年者自立支援ネットワーク会議（書面会議）

2 議題（全て公開）

(1) 協議内容

ア 上越地域若者サポートステーション事業概要

イ 上越地域若者サポートステーション令和3年度事業報告及び令和4年度実施状況について

ウ 上越地域若者サポートステーション令和4年度の実施計画について

エ 上越地域若者サポートステーションと関係機関の今後の連携について

オ その他

3 開催日時

令和4年9月9日（金） ※意見等の回答期限日

4 開催場所

—

5 傍聴人の数

—

6 非公開の理由

—

7 出席者氏名（敬称略）

- ・会 員：吉澤正好、飯田恭子、芋川岳宏、樺澤聡子、藤田健男、小林泰心、板垣朗、山崎金二、五十嵐透子、諸橋孝二、川村忍、野口良二、池亀智美、山崎幸恵、佐藤義明、星野あいり、大西学、高宮輝行、池田隆、五十嵐裕
- ・事務局：上越市産業政策課、上越地域若者サポートステーション

8 発言の内容

(1) 上越地域若者サポートステーション事業概要

(高田西城病院：池亀会員)

- ・アウトリーチ支援については、今後大事になってくるので良い取り組みだと思います。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・待ちの姿勢ではなく、規定の中で出られるところは出向いています。

(すこやかなくらし包括支援センター：高宮会員)

- ・資料1では、「オンラインによる個別相談等も可能」、「学校や自宅等へ訪問するアウトリーチ支援を実施」とありますが、現状における実施状況について教えてください。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・「オンラインによる個別相談」については、相談者から希望があればすぐに対応できるよう、環境は整えてありますが、現状において相談者からの希望はございません。「学校や自宅等へ訪問するアウトリーチ支援」については、当上越サポステは、自宅アウトリーチは行っておりません。(資料1に表記されております、自宅等につきましてこちらの資料は厚労省から全国向けにPRしているものになり、全国サポステ177箇所すべてが自宅アウトリーチを行っているものではなく、一部のサポステに限られています。)その他関係・連携機関より依頼及び個別状況によりアウトリーチ面談、プログラムをさせて頂いております。アウトリーチ個別訪問件数として個別に集計はしていないので(相談件数にすべて混在)、個別訪問件数の具体的な数字は回答できませんが、週に2、3回(3市含)は訪問相談、プログラムを行っております。

(2) 上越地域若者サポートステーション令和3年度事業報告及び令和4年度実施状況について

(糸魚川公共職業安定所：芋川会員)

- ・ハローワークでは若年者の新規求職申込者数が減少傾向にありますが、若サポ利用者は増加傾向であることが資料から見受けられます。新規求職者数が目標を大幅に上回った要因についてご教示ください。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・代表的な2つの活動を以下に挙げさせていただきます。

①各機関との連携

- ・ハローワーク・行政機関「福祉・地域包括」・医療機関・職業訓練校など(民間企業様「職場体験先」企業登録先活動を含む)

※機関によっては、週1回・月1回と訪問数を上げて地道な営業活動を行い、コミュニケーションを図った。利用者情報共有により信頼形成に努め新規利用者紹介に繋がった。

②広報の強化（認知度アップ活動）

- ・「誰にでも一度は聞いたこと、見たことがある」をコンセプトに実施。
- ・①の活動を軸にその他関係先へも訪問
- ・公共・商業施設他への配架棚へ配置（サポステリーフレット・ポスター）
- ・その他民間広報誌・新聞・テレビCM 宣伝
- ・WEB 広報（SNS・リスティング広告など）
→結果、紹介数など増え本人相談にも繋がった。

※詳細は資料4をご確認下さい。

(NPO 法人えちご若者元気塾：藤田会員)

- ・就職者：正職員 25 名それ以外 53 名。①就職後の足取り調査はしているか。②定着率はいかがか。1 年以上継続勤務できているか。③再就職 2 名だが、何年勤務していたか。④正職員以外は、その後、正職員に何人なれたか。⑤食べていけるだけの給料なのか。⑥正職員以外の人には、正職員になるような、後押し的な支援体制はあるか

(上越地域若者サポートステーション)

- ・就職者：①規定に基づき、就職してから 6 か月後に行っています。②6 か月後の定着率は 97%です。規定に基づき 6 か月以降の定着確認は行っていないので 1 年以上の定着率は不明です。しかし、就職後 6 か月以上未済に関わらず相談連絡がある場合は相談対応を行っています。更に就職決定後に就職後も相談支援してもらいたい希望の確認（ステップアップ支援と呼ぶ）も取っており相談支援体制は整えています。③2 名とも 6 か月以内で退職。その後、支援を行い再就職。④規定に基づき、就職 6 か月後に定着確認を行う際詳細確認も行っているが、6 か月後の正社員へのステップアップは見られていません。求職活動を行う際に支援当時の本人の状況・環境・背景から本人希望に基づき、どのような働き方が一番本人にとって最善なのか一緒に検討した結果です。従って、正社員という雇用形態が本人にとって一番幸せなことなのかどうかも含め一緒に考えています。⑤④を基に考えれば、具体的にどれくらいの収入を得られれば食べていけるのかの基準は、本人の納得の基にあるものなので一般的な概念から比較できるものではありません。⑥②にも記したように、就職後支援としてステップアップ支援と言われるものがあります。（それ以外でも希望に基づき支援を行っている）④にも記しましたが、相談時の本人の一番解決したいことが現状の雇用から正社員を希望したいことなのであればその内容を主訴として相談させて頂いておりますが、そうでない場合もあり、あくまでも本人の相談時の主訴希望をもとに相談させて頂いております。

(上越商工会連絡協議会：山崎会員)

- ・資料の見方が悪いかもしれないが、資料3と3-1の数値で相談件数が一致していないのは何故か？

(上越地域若者サポートステーション)

- ・資料3-1の「相談件数(総数)」1,671件は、資料3の「相談件数(全件数)」1,390件に「stepup・定着相談件数」281件を加えた数値となっています。資料3では、相談件数とstepup・定着相談件数と分けて表記されていますが、資料3-1ではそれら2つを合計して表記されています。

(高田西城病院：池亀会員)

- ・就職率が上がっていることは、事業の成果だと思います。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・ありがとうございます。

(すこやかなくらし包括支援センター：高宮会員)

- ・令和3年度新規登録者数が147人とありますが、令和2年度も登録をしていた人の人数について教えてください。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・R2年度新規登録者数109名です。

(3) 上越地域若者サポートステーション令和3年度の実施計画について

(糸魚川市産業部商工観光課：大西会員)

- ・コロナ禍において、相談事業、トレーニングプログラムについて、オンライン開催をご検討ください。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・現状からオンライン相談の体制(機材・場所等)は整っていますが、オンラインでの相談希望者がいない現状です。希望があれば、いつでも対応可能です。オンラインプログラムに関しては、内容から既存プログラムの中でオンライン対応は難しいため、既に実施と推進しているアウトリーチプログラムの利用をお願いしたいです。

(4) 上越地域若者サポートステーションと関係機関の今後の連携について

(糸魚川公共職業安定所：芋川会員)

- ・ハローワークでは若年者及び就職氷河期世代の求職者が減少傾向にある一方で、就職又は就労を継続することが困難な求職者は一定数おり、支援を継続している状況にあります。

す。今後も、連携を深め就職困難者などに対する就労支援を行っていければと思います。
(上越地域若者サポートステーション)

- ・こちらこそよろしく願いいたします。

(NPO 法人えちご若者元気塾：藤田会員)

- ・「若者の居場所Fit」との連携数は、何件

(上越地域若者サポートステーション)

- ・令和3年度は2件。

(高田西城病院：池亀会員)

- ・今後も連携させていただきたいと思います。よろしく願いします。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・よろしく願いいたします。

(すこやかなくらし包括支援センター：高宮会員)

- ・これまでも、地域包括支援センターやすこやかなくらし包括支援センターからサポステにつながり、就労に結び付いた若者がいます。引き続き、連携し、対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いします。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・こちらこそよろしく願いいたします。

(上越市青少年健全育成センター：池田会員)

- ・青少年健全育成センター内の「若者の居場所Fit」において、若者が職業を疑似体験できるようなキットはないでしょうか。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・サポステプログラムの中で、アウトリーチが可能なプログラムをご利用ください。その他、職場見学・体験もご用意しています。個々の諸事情に併せて対応は可能（企業への働きかけも必要あり）です。テクノスクール様の実習体験などの利用も検討中です。

(5) その他

(上越市青少年健全育成センター：池田会員)

- ・社交不安障害や過去の仕事でのトラウマ等から、他人と関わることに不安を抱き、既成の組織に入れたい若者がいます。「訓練して会社に入れ」は困難です。最近、仮想空間メタバースでアバターとなって「仕事」をすることが注目され始めました。この方法な

ら、働ける若者がいます。ぜひ、導入をご検討ください。

(上越地域若者サポートステーション)

- ・現時点で導入の見込みはありませんが、導入するには、社会、企業、行政への働きかけが必要と考えています。

7 問合せ先

上越市産業観光交流部産業政策課 TEL：025-520-5730

E-mail：sangyou@city.joetsu.lg.jp

8 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。